

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和3年6月10日(2021.6.10)

【公表番号】特表2020-518588(P2020-518588A)

【公表日】令和2年6月25日(2020.6.25)

【年通号数】公開・登録公報2020-025

【出願番号】特願2019-559715(P2019-559715)

【国際特許分類】

C 07 K	19/00	(2006.01)
A 61 K	38/21	(2006.01)
A 61 P	31/10	(2006.01)
A 61 P	31/12	(2006.01)
A 61 P	31/04	(2006.01)
A 61 P	35/00	(2006.01)
A 61 P	37/00	(2006.01)
A 61 P	29/00	(2006.01)
A 61 K	47/65	(2017.01)
C 07 K	14/555	(2006.01)
C 07 K	14/00	(2006.01)
C 12 N	15/62	(2006.01)

【F I】

C 07 K	19/00	Z N A
A 61 K	38/21	
A 61 P	31/10	
A 61 P	31/12	
A 61 P	31/04	
A 61 P	35/00	
A 61 P	37/00	
A 61 P	29/00	
A 61 K	47/65	
C 07 K	14/555	
C 07 K	14/00	
C 12 N	15/62	Z

【手続補正書】

【提出日】令和3年4月26日(2021.4.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

I型インターフェロンタンパク質またはこの一部と、III型インターフェロンタンパク質またはこの一部とを含む、融合分子であって、

I型インターフェロンタンパク質が、ヒトI型インターフェロンタンパク質であり、I
II型インターフェロンタンパク質が、ヒトII型インターフェロンタンパク質である
、前記融合分子。

【請求項2】

I型インターフェロンタンパク質またはこの一部が、インターフェロン アルファまたはこの一部であり、

任意に、インターフェロン アルファまたはこの一部が、インターフェロン アルファ2またはこの一部である、請求項1に記載の融合分子。

【請求項3】

I型インターフェロンタンパク質またはこの一部が、インターフェロン ベータまたはこの一部である、請求項1に記載の融合分子。

【請求項4】

I II I型インターフェロンタンパク質またはこの一部が、インターフェロン ラムダ1またはこの一部である；または

I II I型インターフェロンタンパク質またはこの一部が、インターフェロン ラムダ2またはこの一部である；または

I II I型インターフェロンタンパク質またはこの一部が、インターフェロン ラムダ3またはこの一部である、請求項1に記載の融合分子。

【請求項5】

I型インターフェロンタンパク質またはこの一部と、I II I型インターフェロンタンパク質またはこの一部との間にリンカーをさらに含む、請求項1に記載の融合分子。

【請求項6】

そのN末端にシグナルペプチドをさらに含む、請求項1に記載の融合分子。

【請求項7】

I型インターフェロンタンパク質またはI II I型インターフェロンタンパク質の成熟した一部を含む；または

I型インターフェロンタンパク質またはI II I型インターフェロンタンパク質のシグナルペプチドを包含する配列全体を含む、請求項1に記載の融合分子。

【請求項8】

請求項1～7のいずれか一項に記載の融合分子および薬学的に許容し得る担体を含む、医薬組成物。

【請求項9】

インターフェロン処置に反応する疾患または疾病を処置するための方法における使用のための、請求項1～7のいずれか一項に記載の融合分子または請求項8に記載の医薬組成物であって、該方法が、有効量の請求項1～7のいずれか一項に記載の融合分子または請求項8に記載の医薬組成物を、処置を必要とする対象へ投与し、これによって対象の疾患または疾病を処置することを含む、前記使用のための融合分子または医薬組成物。

【請求項10】

対象における疾患または疾病を処置するための方法における使用のための、請求項1～7のいずれか一項に記載の融合分子または請求項8に記載の医薬組成物であって、該方法が、有効量の請求項1～7のいずれか一項に記載の融合分子または請求項8に記載の医薬組成物を対象へ投与し、これによって対象の疾患または疾病を処置することを含み、ここで疾患または疾病が、ウイルス感染症、真菌感染症、細菌感染症、がん、炎症性疾患、または自己免疫疾患である、前記使用のための融合分子または医薬組成物。

【請求項11】

対象における感染症を抑制するための方法における使用のための、請求項1～7のいずれか一項に記載の融合タンパク質または請求項8に記載の医薬組成物であって、該方法が、有効量の請求項1～7のいずれか一項に記載の融合タンパク質または請求項8に記載の医薬組成物を対象へ投与することを含む、前記使用のための融合分子または医薬組成物。

【請求項12】

融合タンパク質が、対象における2以上の細胞型を標的にする、請求項11に記載の使用のための融合分子または医薬組成物。

【請求項13】

2以上の細胞型が、対象の肺または呼吸器にある；または

2以上の細胞型が、対象の腸にある；または

2以上の細胞型が、対象の複数の器官にある、請求項1_2に記載の使用のための融合分子または医薬組成物。

【請求項14】

対象におけるがんを抑制または処置するための方法における使用のための、請求項1~7のいずれか一項に記載の融合タンパク質または請求項8に記載の医薬組成物であって、該方法が、有効量の請求項1~7のいずれか一項に記載の融合タンパク質または請求項8に記載の医薬組成物を対象へ投与することを含む、前記使用のための融合分子または医薬組成物。

【請求項15】

I FN - R 1鎖を分解または下方調節する感染症を患う対象において、I FN - R 2鎖を通してI FN誘導遺伝子の転写のシグナリングを誘導するための方法における使用のための、請求項1~7のいずれか一項に記載の融合タンパク質または請求項8に記載の医薬組成物であって、該方法が、有効量の請求項1~7のいずれか一項に記載の融合タンパク質または請求項8に記載の医薬組成物を対象へ投与することを含む、前記使用のための融合分子または医薬組成物。